

平成25年5月12日 高松干潟を守る会 主催

## 「干潟まつり」開催！

一般の参加者とイオンチアーズクラブ 四日市北店のこどもたち、100名近くが 高松海岸に集まりました。



マテガイって  
どんな生き物？



エイの仲間



アカクラゲ



危険な生き物には触らないで！

▲干潟には、エイやクラゲ類などの毒をもつ生き物もいます。砂の中に隠れていることがあるので、干潟を歩くときは裸足やサンダルなどは避けましょう。



干潟には  
おもしろい発見が  
いっぱい！

## みんなで海岸の清掃活動

▶みんなで協力して、たくさんのごみを拾いました。流木、缶、ペットボトルなどの漂着ごみや海岸に持ち込まれたごみもありました。これからは海岸をきれいにし、干潟の環境を守っていきましょう。



この日、参加者が体験したのは、「マテガイ採り」です。マテガイは干潟の深いところで暮らす、細長い貝殻の二枚貝です。まず水谷さんは、手作りの紙芝居を使って、こどもたちに「砂の中のマテガイの生活」についてお話をしました。マテガイの巣穴は、楕円形をしているのが特徴です。巣穴の奥には、マテガイを捕まえるためには、塩を使います。採り方のコツを教えてくださいましたら、さっそく干潟へ出発です！

## マテガイ採りに挑戦！

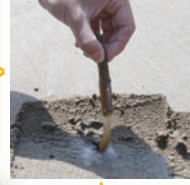
①表面を少し削って  
マテガイの巣穴探し



②穴に塩をふりかける



③又ルーっと、マテガイが  
顔を出したら、ゆっくり  
ひっぱりよう！



採れたー!!



マテガイのほか、イソシジミやアサリなどの貝もたくさん見つかり、潮干狩りにも夢中になりました。大人よりも視線の低いこどもたちの方が、生き物を見つけるのが得意です。潮だまりには、歩くマメコブシガニや、じっと潜むハゼの姿も見つけることができました。ほとんどの干潟の生き物は、砂や泥の中に隠れています。マテガイやニホンスナモグリのように巣穴を深くまで掘る生き物は、干潟の中に酸素を取り入れ、干潟を活性化させる働きをしています。さらに「人が潮干狩りや水遊びで砂や泥を掘り返すことで、人も生き物と同じように干潟の働きに大いに貢献しているんだよ」と水谷さんに教えてもらいました。



小さな生き物を  
育てよう！

◀2cm以下のアサリ、3cm以下のハマグリなどは、持ち帰らないようにしましょう。



「生き物見つけシート」  
に記録しました